

いのちの言の葉2012

富山県教育委員会平成24年度いのちの教育総合支援事業

「あらちゃんといっしょ」

小矢部市立大谷小学校

平成24年7月17日実施

射水市立大島小学校(平成25年2月19日)
でも、いのちの授業をされました。

【いのちの先生】

松下 真由美先生

・富山県特別支援教育支援員
富山市特別支援教育支援員

【授業の概要】

- 1 いのちの先生のお話
あらちゃんの誕生
あらちゃんの死
現在の私

(お母さんへ)産んでくれてありがとう。お母さんの子どもに生まれて幸せです。いろいろ心配かけましたが、これからはよろしくお願いします。私が大人になるまでに、いろいろお手伝いします。これからは心配をかけないようにします。

(〇〇へ)いつも夜勤ばかりでごめんね。ママは仕事をしながら、今何してるかな?と考えています。朝ちゃんと起きてるか、忘れ物をしていないか…。いつも夜勤の時、見送ってくれるけれど、さみしそうな表情を見ると申し訳なく思います。いつも家にいるママではないけれど、〇〇にはずかしくないママでいたいので、仕事をがんばっています。応援してね。これからはよろしくね。



(お母さんへ)今日、命の勉強で、命の大切さを松下先生に教えていただきました。先生の子どもは772gで生まれたそうです。ぼくは何gで生まれましたか。松下先生は、子どもが使っていたスプーンや歯ブラシなどいろいろなものを持ってきておられました。先生の子どもは一生ねたきりだったそうです。

(〇〇へ)〇〇は生まれた時、上手に呼吸ができなくて、顔が真っ青になり、救急車で大きな病院へ運ばれました。その時はびっくりしてとても心配しましたが、今では大きなお兄ちゃんになりました。元気に育ってくれて本当によかったです。これからは命を大切に思いやりのある人になってください。

